

# 神経内科のご紹介

## ◆ 神経内科の診療内容と取り組み



神経内科部長 岡本定久

神経内科は、脳や脊髄、神経、筋肉の病気を担当します。症状としては、歩きにくい、めまい、頭痛、物忘れ、しびれ、などが挙げられます。診察させていただき、どの部位に病気があるかを見極めます。お困りの症状の原因を調べる科であると考えてください。

当科が診療する代表的な疾患は、脳梗塞、てんかん、髄膜炎、ギラン・バレー症候群などの神経救急疾患、めまい、頭痛（片頭痛）、認知症、パーキンソン病や神経変性疾患などがあります。脳血管障害など緊急性のある疾患については、24時間対応できる体制をとっています。特に発症から4.5時間以内の脳梗塞に関しては、急性期血栓溶解療法を念頭に治療を行っています。

当院の特徴は、急性期から回復期、生活期（自宅での生活）まで一貫して治療継続が可能であることです。リハビリテーションも充実しており、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による早期リハビリが可能です。また、リハビリスタッフ、栄養士、ソーシャルワーカー、介護福祉士とともに定期的に回診を行い、多職種で自宅退院へ向けたサポートを行います。



神経内科医長 石原大二郎

外来では、片頭痛の症例も多く受診されます。鎮痛薬を頻回に飲む必要がある人は、薬物乱用型頭痛に移行している可能性もありますので、再発予防を十分に行うこと、また適切な片頭痛発作時の治療が必要になります。頭痛に悩まれている方がおられましたら神経内科を是非受診してください。



神経病総合医療センター所長  
荒木淑郎  
(毎週火曜日に予約診療)

## ◆ 地域の皆様へ

大牟田天領病院は、大牟田・荒尾地域において、数少ない神経内科が常勤している医療施設です。かかりつけ医の先生方と連携し診療を行ってまいります。お困りの症状がありましたらご相談ください。

